

ひらつか 議会だより

平成23年(2011年)5月6日

発行 平塚市議会

No.173

編集 議会報編集委員会
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 0463-23-1111 (代表)
FAX 0463-24-4151
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gikai/



馬入・光と風の花づつみ 《撮影 市原利夫さん/横内》

23年度当初予算など 32議案を原案可決

3月定例会

平塚市議会は、2月15日から3月15日まで29日間の会期で平成23年市議会3月定例会を開催しました。

今定例会では、平成23年度一般会計および特別会計、病院事業会計の各当初予算のほか、花水・旭の各小学校区放課後児童クラブの指定管理者を指定する議案など31案件が市長から提案され、報告を除く30議案を原案どおり可決しました。

そのほか議員提出による会議案として、「JKA交付金制度の改善を緊急に求める意見書」および「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定に関する意見書」を審議し、原案どおり可決しました。

※議案と審議結果の一覧を8面に掲載しています。

骨格予算を編成

一般会計当初予算は804億円

23年度の当初予算は4月の統一地方選挙を考慮し、人件費・扶助費などの義務的経費や、すでに実施が決定している事業の経費を中心に計上し、新規事業経費などの計上は見送られる骨格予算となりました。一方で子ども手当や市役所新庁舎建設事業予算などを計上したことから、一般会計予算は804億4000万円と、前年度と比較して6.0%の増加になりました。

特別会計予算は競輪事業特別会計における競輪グラウンドの開催経費の増加などから前年度比14.1%増の849億7570万円となりました。また、病院事業会計は医療収益の改善と施設整備などから同10.4%増の128億6200万円となりました。

業で、23年度は議事堂の解体工事などを行います。

●次期環境事業センター整備事業
23年度はプラント工事などを行います。

●小学校・中学校体育館耐震補強事業、花水小学校体育館整備改築事業
23年度の事業で、すべて

●新庁舎建設事業
市役所の新庁舎を建設します。27年度までの継続事業

永年の歴史に幕

市議会議事堂が解体へ

市役所新庁舎の建設が23年度から本格的に始まることに伴い、間もなく市議会議事堂の解体工事が行われます。

巨大な彫刻を東西の壁に施し昭和39年11月3日に落成した現在の議事堂は、市民が選んだ代表者たちの議論の場であり、市民の声を市政に反映し、本市の将来

の中学校の校舎と体育館の耐震化が完了します。

8億1462万円

●中小企業金融支援事業
中小企業の施設・設備の導入などを支援します。

4億9233万円

●消防署出張所等整備事業
消防署大野出張所および消防訓練施設を整備します。

4億672万円

●子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種事業
各予防接種を全額公費助成により実施します。

5億2166万円

東日本大震災で被害にあわれた皆様から心からお見舞い申し上げます

平塚市議会では、3月15日の本会議最終日に、11日に発生した東北地方太平洋沖地震による震災で犠牲となった多くの方々のご冥福をお祈りし、全員で黙とうをささげました。

ら18日にかけて「議事堂見学会」を開催し、議場をはじめ議事堂内の施設を市民のみなさんにご覧いただきました。



代表質問

3月定例会では代表質問として3人以上の議員で構成される会派から4人の議員が質問に立ちました。
※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

平塚 クラブ

片倉 章博 議員

議案第19号 平成23年度 平塚市一般会計予算

問 市長マニフェストの進捗よく・達成状況と、マニフェストの23年度一般会計予算への反映状況について見解を伺う。

市長 マニフェストに掲げたすべての事業を平塚市総合計画実施計画に反映させ、ほぼ達成できたと考えている。また23年度予算に反映させたものは、次期環境事業センターの建設や駅西口跨線橋のバリアフリー推進に伴うエレベーターの設置、学校図書館司書の配置等の事業がある。

問 新庁舎建設工事発注におけるWTO協定の適用について、どのようになったのか経過を含め伺う。
市長 WTO協定適用の可否については、入札の公告事項に関する内容なので、具体的には答えられないが、少なくとも本市はWTO協定の対象ではない。

副市長 福祉団体から要望書が届いている。新庁舎建設に当たっては、市民の利用を考え、より多くの来庁者の目に付く場所に空間を確保することを検討している。福祉部局とも調整して進めていきたい。
問 町内福祉村は現在9地区で開設されているが、2地区増え11地区になる計画が示されている。富士見地区ではその地区の社会福祉協議会に運営を委託することだが、今後新設をする場合どのように委託していくのか。
福祉部長 地区社協が運営を受託できるようにしたこと、福祉村設立の幅が広がったのではないかと考えている。富士見地区の町内福祉村も地区社協が受託したが、これらの活動状況を踏まえ、新しい町内福祉村の設立に向けていろいろ努力をしていきたい。

問 待機児童について、平成23年4月には民間保育所や認定保育園の新設などで解消されるというところだが、その後はどうか。また幼保一元化の状況も伺いたい。
健康・こども部長 年齢や地域などの要素もある中で、通年では待機児童が発

生するものと予測している。この場合もさまざまな対策があるが、その一つとして認定保育園をお願いすることも考えている。幼保一元化に関する検討の状況は、企画部が中心となり教育委員会、こども家庭課を構成員として研究会を開き協議を進めている。
問 見附台地区全体の事業を検討しているとのことだが、実際に施設に入る団体などについても検討しているのか。大きな土地利用になるので、どのように展開していくのか伺う。
まちづくり事業部長 対象のエリアには見附台体育館の跡地と平塚市文化スポーツまちづくり振興財団が開設している駐車場、錦町の駐車場の3か所がある。その中で体育館の跡地と市民センターがある場所を優先し、市民センターや公民館が入る複合施設とすることを検討している。この整備方針については23年度中に取りまとめをしていきたい。その後、民間活力を導入するための手続きに入っていきたいと考えている。

問 商業、工業、農業、漁業、観光の各業が連携して、「くりまさり焼酎」に続く「ひらつかブランド」になる

値の高い加工食品を他産業との連携で開発するなど、さまざまな連携の促進を図ってきた。「ひらつか花アグリ」では、あさつゆ工房のジェラート、須賀湊の開き干しなど、平塚産の農水産物を主原料とした加工品を「ひらつか花アグリブランド」として認定していく事業を関係事業者間で準備している。今後はこのように多様な連携の機会を増やし、「ひらつかブランド」

として全国に発信できるような新製品・新商品づくりや、より広範囲な販路の開拓を支援していくとともに、各産業が効果的に連携を推進するための体制づくりを進めていくことが重要であると認識している。

問 指定管理者制度を今後どのように推進し、民営化していくのか見解を伺う。
企画部長 施設の設置目的、特性などを踏まえ、施設ごとに方針を定めている。「びわ青少年の家」「土屋霊園」については導入に向けた検討をしている。

問 指定管理者制度を今後どのように推進し、民営化していくのか見解を伺う。
企画部長 施設の設置目的、特性などを踏まえ、施設ごとに方針を定めている。「びわ青少年の家」「土屋霊園」については導入に向けた検討をしている。

放置自転車対策は、商店会や平塚警察署などと協議し、関係団体協力のもと指導を強化していく。
問 平成22年12月3日、大雨に伴い岡崎地区で住宅の床上浸水や車の水没が発生し、多くの道路や水路も冠水した。安心して暮らせる災害に強い安全なまちに向けた浸水対策が急がれるが、対応を伺う。
市長 岡崎地区の根本的な浸水対策としては、浜田川や金目川の改修があるが、同時に新川排水路の断面拡幅について県などと協議を進めている。さらには西海地排水路の拡幅に向けた詳細設計を進め、整備に向け検討している。23年度は内水はん濫ハザードマップを作成し、情報提供を行う。

湘南民主クラブ

山原 栄一 議員

市長勇退

問 平成23年2月8日の記者会見で、大藏市長は次期市長選に出馬しない意向を表明したことを報道で知った。議会ならびに26万市民に対し、大藏市長から直接「市長勇退宣言」をいただきたい。

市長 私は次期市長選に立候補しません。この8年間「任んでよかったまち平塚」「住み続けたいまち平塚」のためにいろいろな角度から議論をいただき、前に進めることができたことに心から感謝申し上げます。多くの市民がかかわりつくりあげた自治基本条例や、平塚市総合計画をはじめ、市民との協働を基本に市政を進め、私の政治姿勢の基軸を全うすることができた。また、本市の将来に不可欠である大型事業に今後の道

筋をつけることができたことも、大きな成果の一つと述べている。
総合計画の課題から
問 教育環境の整備に向けて今後の取り組みを伺う。
市長 これまでの取り組みを着実に継続して積み重ね、未来を託す子供たちに最善の教育環境や条件をつくっていくことが大切であると述べている。
問 湘南ひらつかパークゴルフ場の利用向上に向けた今後の取り組みを伺う。
市長 利用者の利便性の向上を図るため、20人以上の団体を対象に事前予約を始める。また、市民総合体育大会のニュースポーツの部としてパークゴルフの大会を開催する予定である。
問 つどいの広場「きりんのおうち」など、子育て支援環境の整備に向けた取り組みを伺う。
市長 26年度までにつどい



開設から1年が経過したつどいの広場「きりんのおうち」(四之宮)

の広場をさらに1か所新設するなど、計画に107の事業を位置づけ、関係する機関等と適切な役割分担を行い、着実に取り組みを進めていく。
問 平塚市が大磯町、二宮町のごみ処理の広域化に加わるメリットとデメリットについて伺う。
市長 主な効果としては施設整備費などの削減、処理施設を各市町で分担することで搬入車の通行が減少することなどが挙げられる。不利な点としては、施設が分散することにより搬入先が遠方になることが考えられる。

問 新しい産業の創出に向けては、企業の誘致や育成
市長 中心商店街の駐輪、

問 市役所新庁舎建設をはじめとする三大事業を進めていくため、市民に財源の見通しをきちんと示してほしい。
副市長 庁舎建設基金から70億円、国庫支出金から44億円、市債が194億円、一般財源から9億円であり、22年度から27年度までの6年間で支出していく。



早急な浸水対策が望まれる西海地排水路沿いの冠水状況(岡崎)

※WTO協定：政府調達に関する国際条約に含まれる協定。政府調達に国外企業が参入しやすくなるように、一定の基準額以上の物品やサービスの調達に際して所定の手続きをとることを定めている。

清風クラブ

須藤 量久 議員

市長に問う

問 平塚市のトップリーダーとしてこのようなまちづくりを目指してきたのか、その基本姿勢・考え方について聞きたい。

市長 私はずっと市民の立場になって考えることを何よりも大切にしてきました。...

主な事業から

問 農業振興の新たな拠点を整備した本市として、...

経済部長 TPP協定については、現在、国の具体的な方針や対応が定まっていないう状況にあることから、...

問 産業の活性化は重要な課題である。本市の産業の活性化に向けて、23年度はどのように取り組むのか見解を聞きたい。

平成23年度当初予算について

問 景気低迷に対する緊急支援策として、中小企業等緊急支援特別補助を一年延伸するとともに、...

市長 金融支援では、長引く景気低迷に対する緊急支援策として、中小企業等緊急支援特別補助を一年延伸するとともに、...

や、商店街の活性化に取り組んでいく。

要領が適切に実施されるよう備えてきたと思うが、確認も含め具体的な改善内容について聞きたい。

教育長 小学校では、23年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、各学校の教育課程編成上の工夫や課題等について、...

問 農業振興や農業理解を進めるためにも、「ひらつか花アグリ」への来場者の確保をさらに図ることが重要であると考えている。見解を聞きたい。

経済部長 本市としては、「ひらつか花アグリ」は農業振興の拠点として非常に重要な場所であると認識しており、...

問 新学習指導要領の全面実施に向けて、新学習指導要領が適切に実施されるよう備えてきたと思うが、確認も含め具体的な改善内容について聞きたい。

教育長 小学校では、23年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、各学校の教育課程編成上の工夫や課題等について、...

問 新学習指導要領の全面実施に向けて、新学習指導要領が適切に実施されるよう備えてきたと思うが、確認も含め具体的な改善内容について聞きたい。

教育長 小学校では、23年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、各学校の教育課程編成上の工夫や課題等について、...

問 新学習指導要領の全面実施に向けて、新学習指導要領が適切に実施されるよう備えてきたと思うが、確認も含め具体的な改善内容について聞きたい。

公明 ひらつか

松崎 清子 議員

平成23年度予算編成 財政健全化への取り組みについて

問 景気低迷や少子高齢化等による扶助費の増加に加え、新庁舎建設・次期環境事業センター整備・市民病院の整備など大型事業を控え、計画的な財政運営が求められる。...

市長 骨格予算であり、いかに規模を縮小するかという点、また子ども手当の対応に苦心した。工夫したことは、財政調整基金を取り崩さないこと、臨時財政

ある。サン・スタッフ(学習支援補助員)は、各学校に平均二人ずつの配属で、勤務時間も限られている。学校のマンパワーを充実させ、きめ細かな教育を行うため、今後の拡充の考え方について聞きたい。

学校教育部長 学習支援補助員については、学校の状況、児童・生徒の状況を勘案しながら適正な配置に努めたいと考えている。また、併せて教職員の定数配当基準の見直しがある。35人学級が今後実現し、学級が増えていくことに伴い、担任以外の教職員が学級に対応する状況が増えることが十分に考えられる。40人学級

問 スクールカウンセラーは平均週一回しか派遣されておらず、さまざまな課題を抱えた児童・生徒の対応に十分であるとは思えない。

市長 国の手法も一つの手法と考える。市税収入に対する人件費比率については今後の検討課題としたい。

問 本市の人件費は、国の給与水準に対して6・2%高いが見解を伺いたい。

総務部長 全体的に昇給制度を見直さないと国のレベルまで下がらない。地域手当を含め今後検討していく。

問 23年度予算編成にどう反映したのか。

市長 実質単年度収支の歳出削減努力による黒字化、使用料の改定等による自主財源の確保、また施設整備保全基金への積み立ては利子収入を充てる予定である。

問 22年度に財政健全化対策で取り組む人件費削減目標は3億6300万円だが、見直しを伺いたい。

の定数配当ではなく、35人学級に即した新たな定数配当基準となるよう国・県に強く要望していきたいと考えている。

問 3月分が6月に支給される。それ以降児童手当法が復活するが、所得の把握やシステムの改修作業が必要になる。新たな手続きが必要になるのかは不明である。

市長 国の手法も一つの手法と考える。市税収入に対する人件費比率については今後の検討課題としたい。

問 本市の人件費は、国の給与水準に対して6・2%高いが見解を伺いたい。

総務部長 全体的に昇給制度を見直さないと国のレベルまで下がらない。地域手当を含め今後検討していく。

問 23年度の子ども手当の支給総額は58億5000万円余りであり、国が全額負担すると見込んで予算計上している。子ども手当法案が可決された場合の本市の負担額はどのくらいか。また成立しない場合、市民は新たな手続きが必要か。

市長 職員の削減数が目標の30人に対して11人と下回ったことで、約1億6100万円の削減となる。

問 本市の人件費比率の算出方法は、国と同様で歳出

い。今後の考え方について聞きたい。

学校教育部長 まず市のスクールカウンセラーが配置されていない中学校への配置を行い、中学校全校に県と市のスクールカウンセラーが週1日ずつ、合わせて2日派遣される体制を整えたいと考えている。

雇用と地域経済対策

問 23年度の取り組み内容について伺いたい。

経済部長 国の「ふるさと雇用再生特別基金」「緊急雇用創出事業臨時特別基金」を活用し、雇用を促進していきたい。

問 国からの「地域活性化交付金」を受け本市でも経済対策を実施するが、もう少し事業のロットを小さくし、市内の隅々まで経済効果が表れるような対策はなかったのか。

企画部長 国県への申請期間が短く、すでに計画がある事業でない対応が難しかった。

公会計制度の改革

問 国や地方自治体の公会計制度は、事業別の費用対効果を算出できないなどの課題があり正確性に欠ける。民間企業が採用している複式簿記を導入する考えはないか伺いたい。

調整し検討したい。交通事故件数の増加の現状と安全対策

インターネットで会議録を検索
平塚市議会
検索
市議会での審議の内容を「会議録」としてまとめています。...

市議会トップページ
平塚市議会
会議録検索のページ

※環太平洋パートナーシップ協定(TPP):貿易自由化を目指す経済的枠組み。2015年をめどに関税全廃を実現するべく協議が行われている。

総括質問

3月定例会では13人の議員が総括質問を行い、活発な議論が展開されました。
※質問者の文言より質問と答弁の要旨を掲載しています

平塚クララブ

出縄 喜文 議員

農業振興は間接投資から直接投資へ

問 平成22年農業センサスによると、本市の総農家数は1824戸で、そのうち専業農家数は351戸である。また農業就業人口総数は2035人で、男性が1070人、女性が965人である。そして1824戸の農家世帯のうち、474戸は農地を所有しているだけで販売を目的としておらず、残り1350戸の農家のうち年間販売額が500万円を超えるのは182戸だけである。そこから必要経費を捻出する、その所得は想像がつかない。このテーマが示すように、農業は厳しい経営状況にある。農家は何を求めているのか。農業者の育成、農業生産額の拡大を目的に、23年度も約6億円の農業費が予算計上されているが、税金の有効な使い道が求められる。今日まで行政の農業政策は農地の基盤整備、農道の整備などに多額の税金を投資してきたが、農業生産額は減少する一方である。現在では本市の農業生産額は60億円を下回っているといわれている。農業基盤の整備は重要だが、生産意欲の高い農家に手厚い支援をすることが、本市の農業を守ることに必要ではないか。今日まで行政による農業支援は間接投資がほとんどであったが、今までほとんど行われてこなかった直接投資を行うことを提案する。

湘南民主クラブ

府川 正明 議員

50歳以上の支援

問 自殺やうつ病による経済損失が推計27兆円になるという調査結果が厚生労働省から発表されたが、経済損失だけではなく、今の時代に生きる人々のかけがえない命や生活を守るために、社会全体で自殺対策に取り組みが必要であると思う。最近では、精神科医だけではなく他職種の人材によるチームを導入して、地域に暮らす患者を訪問する「アウトリーチ支援」の重要性が認識されているが、重要何を伺う。

福祉部長 アウトリーチ支援とは、在宅でまだ治療を受けていない方や治療を中断している重病の患者およびその家族を訪問することにより、保険、医療、福祉サービスで包括的に支援するものである。本市では、障がい者自立支援協議会精神科科会が研究を始めたところである。

問 全国の自殺者数が3万人前後で推移している。平塚市に元気を取り戻すために、市として何が必要と考えているのか。
経済部長 人口の増加、企業収益の増加などにより市税収入が増えることが見込めるよう働く場を創出すること、地域ブランドの創出や観光との連携により市内外へアピールできる市民が誇れるものをつくる必要がある。また市民が生き生きと健康でいられるために市民が活躍できる場があることが大切である。

清風クラブ

落合 克宏 議員

まちの元気アップ

問 平塚に元気を取り戻すために、市として何が必要と考えているのか。
環境部長 3Rの推進を柱として、厨芥類の水切りや分別排出の徹底をお願いしていく。また、事業系ごみの排出の適正化や処理手数料の見直しなどを行う。そして、剪定枝と厨芥類の資源化を検討し、焼却灰の資源化を実施するなど、一丸となって取り組んでいく。

防災対策について

問 共助の体制である地域防災を強化するために、市はどのように取り組むのか。
防災危機管理部長 自主防災組織を育成することが必要不可欠であるため、防災訓練の実施と役員任期の延長をお願いし、防災資機材等の整備に対する助成、自

経済部長 わが国の農業は非常に厳しい経営環境に直面している。一経営体当たり約1ヘクタールの耕作面積が小さく、高齢化等により担い手不足が進む中で、本市農業の将来を考えると、意欲ある担い手に対して生産性の高い農地を集積していくことも、経営支援を拡充していく必要がある。厳しい財政状況や、国の補助制度が縮減傾向にある中では、農業支援における選択と集中は非常に重要である。また支援策に限らず、農道・用排水路等の基盤施設の整備についても、選択と集中の視点に立って進めていく必要があると考える。

伊藤 裕 議員

平塚市民であることに満足か

問 市民満足度の尺度は、「行政サービス」が行き届いた。本市として、ますます高齢化が進む中で、「買い物弱者」に対する取り組みが必須と考えるが、見解は。福祉部長 国では経済産業省が平成22年12月に取り組みの先進事例や工夫のポイントを紹介した「買い物弱者応援マニュアル」を作成した。本市は平成22年3月に策定した平塚市産業振興計画の実施計画で「高齢者のための買い物支援事業」として、高齢者などの買い物支援するシステムの開発を商店街等と協力して進めることとしている。また、23年度中に平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画「第5期」）の策定の準備をするが、その中で具体的な施策を位置付けていきたいと考えている。

山口 聖 議員

道路整備について

問 生活道路の整備における優先順位について、市民からの意見がどのように集約されているのか。
土木部長 たくさんの要望が寄せられているが、多くは整備に用地買収が必要となり、地権者の合意を得ることが不可欠である。その支援等を行っていく。

吉野 和美 議員

危機の認定と責任

問 平塚市地域防災計画等で組織や体制の整備がされているが、どのように危機の認定を行っているか伺う。
防災危機管理部長 平塚市危機管理対処方針を定め、危機の認定に当たりその対応レベルに応じて大きく三つに分けて対応している。

災害時要援護者への避難支援を問う

問 災害時要援護者の防災対策を講じるには、防災部局、福祉部局、市民部局が連携して各部が抱える課題解決に当たるべきだと考えられているが、見解は。
防災危機管理部長 災害時要援護者の避難支援については、枠組みを構築するた

家畜伝染病対策は

問 畜産等の防疫には、JA湘南や畜産関係団体との協力体制が重要だと考えるが、見解は。
経済部長 防疫には正確な情報と的確な措置が必要であるため、連携を密にし、意識向上に努めたい。

明責任を徹底できるように意識改革を図っている。問 行政にも市民の厳しい目が向けられている。市の職員数や給与、期末勤労手当などの支給額は適正か。
企画部長 正規職員は2276人で、ほかに再任用職員、嘱託職員、臨時職員などがある。職員の配置を見直すべき部門はあるが、全体ではおおむね適正と考えられる。給与は人事院勧告に基づき国家公務員の給与と改定に準じて改定している。
総務部長 地域手当の支給率が国家公務員を上回っているが、近隣市との均衡を踏まえ適正化したい。

日本共産党 平塚市議会議員団

渡辺 敏光 議員

住宅リフォーム助成制度は、研究・検討

問 中小零細業者の仕事確保による地域の活性化と、バリアフリーや耐震補強工事による安心な住宅環境づくりの二つの目的をもった「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める。
経済部長 現在のところ実施する考えはないが、最近では県内でも実施する自治体があることは承知している。バリアフリー化や耐震補強工事などの住宅リフォームは安心な住宅環境づくりの二つの目的をもった「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める。

秋澤 雅久 議員

子宮頸がんワクチンについて問う

問 子宮頸がんワクチンの予防接種事業が、本市においても実施されることになった。学校関係者や小児科・産婦人科など、関連する医師会との協力、連携が必要と考えているが、どのように体制が確保されているか伺う。
健康・こども部長 平塚市医師会との連携をはじめ、教育委員会にも事業説明を行うとともに、今後の周知や実施方法について相談しながら事業を推進していきたい。

緊急輸送路の確保は

問 緊急輸送路の確保について、被災した自治体の救助を生かし、施策の中でどのように対策を講じていくのか。
防災危機管理部長 緊急輸送路の確保に向け、今後施策を検討していく。

永田 美典 議員

問 すでに自費で予防接種を受けた方もいる。これらの方が費用の補助を受けられるような救済措置は考えられないか。
健康・こども部長 費用負担は本市が契約をしている医療機関での接種を対象とするものである。今後、他の自治体の様子や市の財政状況などを見ながら検討し

市民派の会

端 文昭 議員

大蔵市長に問う

「市長の2期8年、その成果と限界」
問 初めて平塚に誕生した女性市長で自身として「女性市長はどうして生まれたのか」、また就任当初の心境を伺いたい。
市長 私が市長選に立候補した平成15年当時、前回に続き無投票で市長が決まりそうな状況だった。選択肢がなくてもいいのかと疑問を抱いていたところ、市民から市長選に出てほしいと推され、私力を顧みず心を奮い立たせ立候補を決意した。選挙の争点は湘南市合併の是非であり、市民の議論なく進められる政治手法そのものを変えたいと思った。当選をえたのは、クリーンで透明な政治姿勢に對して、市民の理解を得られたからではないかと思っている。

国保税 なぜ値上げ

問 市民生活が厳しい時に、なぜ国民健康保険税の税率をアップするのか。
健康・こども部長 医療費が増加し、給付と負担のバランスを見直すためである。収納率は18年度が70.54%、21年度は64.79%と下がっている。税率の引き上げは収納率のさらなる低下につながるが、健康・こども部長 これまでの経験から一定の収納率は確保できると考えている。
問 平成23年度予算は一般会計からの繰入金を前年度より圧縮し、約18億円としている。深刻な経済状況下ではあるが、一般会計からの繰り入れを減らすことからは税率の引き上げを必要とする必要があるのか。
健康・こども部長 22年度当初予算と同額を繰り入れたとしても、23年度は財源不足となってしまう。

不足となってしまう。

問 市民一人当たりの一般会計繰入額は、2万1621円である。財政規模は小さくても引き上げを対応する自治体が多くある。本市も努力すべきではないか。
健康・こども部長 本市の一人当たりの繰入額は県内19市中7番目に多い。

大蔵市長に問う

問 今般一般会計からの繰り入れで維持しているが大蔵市長になって3回国民健康保険税額が上がったが、考え方を聞きたい。
市長 国民全体の健康をどう維持するかという立場から、国保事業は国の税金で運営していくべきだと思う。

小児医療費助成制度

問 市民が望む子育て支援策のうち、小児医療費助成制度の小学校6年生までの引き上げについて見解は。
市長 自治体の財政状況等

新ファミナリウム

問 1億円をかけて博物館のファミナリウムを改修するが、新年度に市内のすべての子供に観覧させる取り組みを求める。
社会教育部長 実現に向けて工夫をしていきたい。

買い物弱者対策

問 買い物弱者への支援は、今後23年度中に買い物弱者対策の具体的な施策をつくって、庁内関係部署と連携して取り組みたい。

転じ、市長の提出議案はたびたび否決された。新町のパチンコ店問題では議会の否決によって出店を阻止できなかったが、そのことに対する思いを聞きたい。
市長 1期目は反対された施策等が数多くあった。あれもだめ、これもだめ、厳しい議論の洗礼を受ける大蔵市長」と新聞報道されたこともあった。
問 袖ヶ浜の高層マンション計画や杏雲堂跡地の病院誘致などで市長は頑張ったと思う。一方、情報コントロールの点ではいかがかと思っ所もあった。総合計画は議会で二度継続審査になった後、平成19年市議会3月定例会では審議未了により廃案とされた。再選後は一転して可決されたが、振り返って思うことは何か。
市長 総合計画が1期目の最後の議会で廃案になったことは大変残念であった。市民との協働で積み上げてきた総合計画を葬るようでは、平塚に真の民主主義は根づかないのではないかと危機感を持った。2期目の市長選に勝って計画を進めたいという強い気持ちがあった。多くの困難はあ

だが、そのつど全力を尽くしてきた。私の人生にとって最高に充実した8年間であったと思う。

問 この2期8年を大蔵市長が自己評価すると、百点満点どのくらいか。
市長 将来的に評価されるか批判されるかだと思っ。今評価されるよりも、将来評価されるの方が私にとっては重要なことであり、後世の評価を待ちたいと思う。

中学校給食の実施を

問 中学校給食の実施を求める声が広がっているがどう考えるのか。
教育総務部長 学校給食は重要な役割を果たすと認識しているが、厳しい財政状況から喫緊の課題とはとていない。

買い物弱者対策

問 買い物弱者への支援は、今後23年度中に買い物弱者対策の具体的な施策をつくって、庁内関係部署と連携して取り組みたい。

永田 美典 議員

問 現状の取り組みと総合

議会のみめ知識

【新たな市議会の体制は5月臨時会で決定】
4月24日に行われた市議会議員選挙で、第20期の平塚市議会議員30人が決定しました。新たな議員は市民の代表として、4年間の市議会議員の職を務めていきます。市議会では今後、5月中旬に臨時会を開催し、議長や副議長、各委員会の委員などを決定していきます。議長と副議長は議員の中から選挙で選ばれ、任期は慣例により2年間です。また各議員は1年間の任期で必ずいずれかの常任委員会に所属します。新しい議員の顔ぶれや議長・副議長の選挙結果、各委員会の委員構成については、6月上旬に発行する「ひらつか議会だより・5月臨時会号」でお知らせします。

無所属

江口 友子 議員

国民健康保険税の値上げを市長に問う

問 具体的な世帯を例に本市の国民健康保険税の引き上げ状況について質問したが、30歳で年収200万円が、30歳で年収200万円の単身世帯の場合、値上げ率は約12%、年間保険税額は12万4900円になるとのことだった。また夫が40歳で年収200万円、妻が35歳で年収100万円の小学生の子供二人がいる世帯では、月々の保険税額が2万円になる。この世帯の場合、平成18年度時と比べて年間保険税額は5万円も高くなる。年収200万円以下の世帯が多くなっている中で値上げを決めた市長の判断をあらためて聞かせてほしい。

市長 年収200万円以下の世帯が多いかどうかは分からないが、大きな負担になっており厳しいことだと率直に思う。しかし国民健康保険事業を持続させるために値上げはやむをえないと考える。

どうか分からないというが、4万3855件の国民健康保険加入世帯のうち、年間所得が103万円から200万円の世帯が23・85%で最も多い。所得のない世帯も20・35%ある。国民健康保険税を値上げしても滞納は増えないとのことだが、どこまでならば市民が払えると考えているのか。

市長 税額の減免などで救済する方法もあるので、ご理解いただきたい。

無所属

高橋 紀英 議員

市民参加のまちづくりについて

問 本市は自治基本条例で、市民の市政への参加の原則を定めているが、現状はどうか。

市長 本市は自治基本条例で、市民の市政への参加の原則を定めているが、現状はどうか。

市民部長 審議会などの公募市民枠の拡大や、パブリックコメントの制度化等により、市民の市政への参加機会は着実に増えている。

市長 市民とともにまちづくりを進めるために、市職員が地域活動へ参加することは有意義である。PTAや自治会など地域のさまざまな分野の活動に参加していることも承知しているが、個人の自発的な意思によるので、機会をとらえて地域活動への積極的な参加を呼びかけたい。

無所属

厚見 利子 議員

ごみ処理広域化実施計画骨子案について

問 骨子案では平成24年から25年の焼却残さの資源化量は約5000ト増え、最終処分量が約1万ト減るとあるが、その差はどこからくるのか。

環境部長 新旧の環境事業センターの処理方法の違いによるものである。現在、焼却炉から出る焼却残さは約1万トであり、その中身は灰とコンクリートや水分を混ぜたものである。新施設から出る灰は5000トと予測され、全量資源化されるので5000トの差が出てくる。

環境部長 灰の飛散を防止するためにセメントで固化したり水分を加えたりして



3月定例会の質問者と主な項目

※発言通告から主な項目を抜粋

《代表質問》議員名:所属党派名等(質問時間) 片倉 章博:平塚クラブ(40分) 1 議案第19号 平成23年度平塚市一般会計予算 2 絆の前進 (1) 産業の活性化について 3 平塚市の民営化 (1) 指定管理者制度について 4 子どもにツケを回さない (1) 行財政改革と財政の見直し	(2) 「子ども手当」について (3) 雇用と地域経済対策 (4) 公会計制度改革 ア 複式簿記の導入 2 教育長に問う (1) 生きる力を育む教育 ア フリーターの実態とキャリア教育 3 諸課題 (1) 市有土地の管理と運用について (2) 指定管理者制度について (3) 交通事故件数増加の現状と安全対策	(1) 新港整備事業の今後は 落合 克宏:清風クラブ(20分) 1 まちの元気について 2 ごみ処理広域化の課題について (1) 1市2町ごみ処理広域化の展望 (2) 相模小学校の移転 (3) 余熱利用施設 3 防災対策について	(1) 女性市長はどうして生まれたのか (2) 市長の2期8年、その成果と限界 2 平成23年度当初予算案から (1) 駅西口駐輪場整備とバリアフリー (2) 三大事業について (3) 子どもにかかわる施策 3 諸課題 (1) 米海軍ヘリコプターの不時着 (2) JR上の小川跨線橋
山原 栄一:湘南民主クラブ(45分) 1 市長勇退 2 平塚市総合計画「生活快適・夢プラン」から 3 平成23年度当初予算案から 4 三つの大型事業について	《総括質問》議員名:所属党派名等(質問時間) 出縄 喜文:平塚クラブ(25分) 1 ひらつか協働経営プラン2011 (1) 指定管理者制度導入推進事業 ア 基準と運用について イ 今後の方向性 (2) 職員給与適正化事業 (3) 定員適正化計画推進事業 2 平塚市産業振興計画 (1) 農業振興について ア 間接投資から直接投資へ	秋澤 雅久:公明ひらつか(20分) 1 予防と健診について 2 中小企業支援策について (1) 雇用のミスマッチ解消へむけて (2) 動画による中小企業の情報発信支援	渡辺 敏光:日本共産党平塚市議会議員団(30分) 1 市長に問う (1) 市民のくらしの実態から ア 市の景気対策 イ 国民健康保険税率引き上げについて ウ 小児医療費助成制度の充実 (2) 中学校給食について (3) 新プラネタリウムの活用について
須藤 量久:清風クラブ(35分) 1 市長に問う (1) 2期8年を振り返って (2) 平成23年度当初予算について (3) 主な事業から ア 市民提案型協働事業 イ ひらつか花アグリ推進事業 2 教育長に問う (1) 基本方針 (2) 主な事業から 3 平塚市産業振興計画について (1) 観光・平塚の地域資源を生かしたまちづくり	府川 正明:湘南民主クラブ(30分) 1 心のよりどころへの支援 2 高齢者対策 (1) 買い物弱者への対応は 3 改正消防法について 4 大浜地区土地区画整理事業 (1) 都市計画案に対する再検討は (2) 新港背後地との連携整備は (3) ホームレス問題 5 漁業観光事業への取り組み	伊藤 裕:平塚クラブ(25分) 1 市民は平塚市民であることに満足しているか 2 子育てするならば平塚でと言えるか	江口 友子:無所属(15分) 1 議案第14号 平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (1) 保険税の値上げと国保世帯の状況 (2) 日曜相談窓口の開設を
松崎 清子:公明ひらつか(40分) 1 市長に問う (1) 平成23年度予算編成から ア 財政健全化への取り組みについて		山口 聖:湘南民主クラブ(15分) 1 「住みやすいまち・平塚」を目指して (1) 道路整備について	高橋 紀英:無所属(15分) 1 市民参加のまちづくりについて (1) 市政への参加 (2) 地域活動・市民活動への参加 (3) 市職員の地域活動への参加
		吉野 和美:清風クラブ(20分) 1 災害対策と危機管理について (1) 危機の認定と責任 (2) 災害時要援護者への避難支援 (3) 市・県指定緊急輸送路の確保 2 家畜伝染病対策について	厚見 利子:無所属(15分) 1 湘南西ブロック平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画 (1) 骨子案について (2) ごみの減量化について
		永田 美典:公明ひらつか(15分) 1 「新しい福祉」について (1) 「心の病」うつ病対策 2 「買い物弱者」対策について	
		端 文昭:市民派の会(30分) 1 大蔵市長に問う	

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の委員会に付託して審査を行いました。

総務経済常任委員会

議案6件、請願4件を審査し、議案についてはすべて原案どおり可決すべきものと決定しました。また請願については3件を継続審査とすべきもの、1件を不採択とすべきものと決定しました。

◆主な質疑

○議案第10号「平塚市一般職の任期付職員の採用等に関する条例」
○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)
防犯対策費の「自主防災組織支援事業」に関して、自主防災組織への助成金の使途は。

活動に必要な資機材を指定し、保有率により組織への助成額を変えている。
農業振興費の「ひらつか花アグリ推進事業」に関して、23年度はどのように事業を進めるのか。

駅や東京都内でPR活動を行い、来場者の拡大を図っていききたい。
農業振興費が全体的に減額されているが、今後の農業振興策についてどう考えているのか。
21年度に産業振興計画

策定し、22年度は農業体験メニュー等のさまざまな種をまいた。23年度は成長を見極め、地産地消促進計画への反映や6次産業化の認定に向けた取り組みを進めていきたい。
水防費の「水防対策事業」に関して、災害時における避難所開設の体制はどうなっているか。
本市では大規模地震の際には小中学校、局地的な風水害などについては公民館を避難所としている。避難所の開設は、災害対策本部からの指示により行う。

人材が必要だと認識しているが、地域によりサポート体制ができていない所もある。また民生委員の健康面のチェック体制についても検討していきたい。
児童福祉総務費の「子ども手当事業」に関して、国の法案が国会を通らなかつた場合市民生活に影響が出るが、市の対応は。
対策として平塚市社会福祉協議会の生活福祉資金や一時貸付金の利用を考えている。
保健衛生費の「母子保健事業」に関して、妊婦健診の開始時期は平成22年10月となっているが、週及措置はあるのか。
平成22年4月1日に遡って措置をする。この制度を知らない方に向けて、早急に情報提供を行ってきたい。
議案第27号「平成23年度平塚市病院事業会計予算」
地域医療との連携を

環境厚生常任委員会

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

道路橋りょう費に関して、橋の改修に対する市の考えを示してほしい。
架け替えではなく、長寿命化させる方向で対応していく。
都市計画総務費の「生活交通確保対策事業」に関

湘南ひらつかビーチパーク

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)



ひらつか花アグリ「花菜ガーデン」のバラはもうすぐ見ごろ

環境厚生常任委員会

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案12件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

教育民生常任委員会

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

市政への要望を市議会へ 請願・陳情の提出方法

市政に関することや地域の身近な問題などで、市民のみなさんの意見や要望などを直接市議会に提案できる制度として、「請願・陳情」があります。請願・陳情はどなたでも提出することができます。

■請願書・陳情書の提出方法

請願書・陳情書には、日付、住所、氏名(団体名・役職名)の記載と押印が必要です。宛て先は平塚市議会議長としてください。また、請願書には紹介議員の署名が必要です。

なお、請願・陳情者が多数の場合は、代表者以外の請願・陳情者の署名や押印などのある「署名簿」を添付することができます。

■提出の締め切り

請願の提出締め切りは本会議第2日目の午後5時です。陳情の提出締め切りは定例会で開催する議会運営委員会の2日前です。

なお、請願・陳情者の住所・氏名等は一般に公開されます。あらかじめご了承ください。

◆記載方法などでご不明な点は議会局(☎21-8791)にお問い合わせください。

環境をつくるために必要であり、また災害時の避難場所としての意味もある。

○議案第29号「工事請負変更契約の締結について(消防署大野出張所・消防訓練施設新築工事(建築))」
土壌からフッ素が検出

されたことで工事費を2200万円増額することだが、あらかじめ土壌調査等を含めた内容で工事を進めるべきではないのか。
土壌汚染への認識はななく、調査が必要という事前の判断はなかつた。

らに密にしていきたい。
教育委員会の予算編成で重点を置いた部分は、現場の声を聞き取り、人的資源に関する予算は減らさなかつた。
幼稚園費の「幼稚園運営補助事業」における補助金の考え方は、私立幼稚園等就園奨励費については、補助金の支給の対象となるいくつかの階層で減額となっているが、それ以外の階層では増額となっているため、全体としてはこれまでの金額を補助できている。

平塚市一般会計予算(所管部分)
安全対策費の「放置自転車対策事業」で、平塚駅南口周辺の駐輪場対策は、計画に沿って23年度以降、八重咲町と代官町の駐輪場を2階建てにして収容台数を増やしたい。
社会福祉総務費の「市民相談事業」で、相談の充実に向けて23年度はどのように取り組んでいくのか。
庁内各部署の連携を

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第19号「平成23年度平塚市一般会計予算」(所管部分)

議案1件を審査し、原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案の審議結果

○賛成 ×反対

可決した意見書

Table with columns for item number, name, and voting results for various committees and members. Includes items like '平成22年度平塚市一般会計補正予算' and 'JK A交付金制度の改善を緊急に求める意見書'.

Table listing members and their affiliations: 会派名等 (Party Name) and 所属議員名 (Member Name).

請願の審査結果

Table showing petition review results with columns for item number, name, committee, committee review result, and council review result.

JK A交付金制度の改善を緊急に求める意見書

近年、競輪事業は、長引く景気の低迷やレジャーの多様化等の影響を受けて、車券売上げが大幅に減少している。各競輪事業施行者においては、経営の合理化・効率化・開催経費の削減等、事業継続に向けて懸命な努力を続けているものの、収支状況は悪化の一途をたどっている。

環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定に関する意見書

政府は、昨年11月9日に環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定の情報収集を進めるために、関係国との協議を開始することなどを内容とする「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定した。

議会を傍聴しませんか

臨時会・定例会のお知らせ



次回は5月中旬に臨時会、6月上旬から定例会を開催します。

※市庁舎建て替えによる議事堂の解体に伴い、市議会6月定例会は勤労会館で開催します。日程など詳しくは平塚市議会ホームページをご覧ください。